

マーケットの動き（2025年4月28日～5月9日）

先週の為替市場は、4月25日比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

週初は、6、7日にかけて行われたFOMC（米国連邦公開市場委員会）において米政策金利維持の発表があり、米ドルは対円で上昇しました。8日には米英の貿易協定成立の報道によって、米関税政策に対する懸念が和らぎ、円売り・米ドル買いが優勢となりました。

ユーロは4月25日比、対円・対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2025年5月）

円に対して米ドル、ユーロともに下値は限定的

米ドル：米国の関税政策を中心とした政治面での不確実性がドルの下押し圧力になっているとみられます。ただし、今後の日米関税交渉の内容次第ではドルが選好される可能性もあり、ドルの円に対する下値は限定的とみています。

ユーロ：米国関税政策の不確実性を受けたドルの下押し圧力とECB（欧州中央銀行）の利下げ姿勢と、ユーロを巡る強弱材料が交錯する中、ユーロはドルと同様に円に対する下値は限定的とみています。

	5月9日	変動幅（円）			
		4月25日比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	145.02	1.04	0.25	▲7.41	▲10.56
ユーロ/円	163.41	▲0.27	3.61	▲0.43	▲4.25

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202505_outlook.pdf

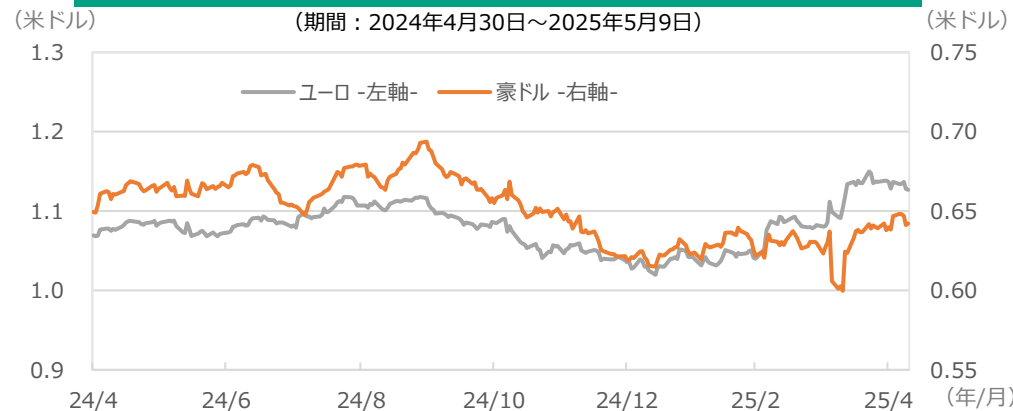
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年4月30日～2025年5月9日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年4月30日～2025年5月9日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>